



子どもたちの目を世界に向けるイベント “みんなで「命の木」を作ろう！” 夏休みに六本木ヒルズで開催

日程：2012年8月27日(月)～9月2日(日)

特定非営利活動法人ワールド・ビジョン・ジャパン(東京都新宿区、常務理事・事務局長 片山信彦)は、「命の木プロジェクト」の一環として、8月27日(月)～9月2日(日)の夏休み期間中、子ども向けイベント“みんなで「命の木」を作ろう！”を六本木ヒルズで開催します。

このイベントを通じて、子どもたちは大きな紙芝居で、日本では当たり前の環境が整っていないために、栄養不良になったり、命を落としたりする子どもたちが世界にいることをわかりやすく学びます。その後、「世界の子どもたちが、まず5歳まで生きられるように」という気持ちをこめて、会場内にある「命の木」を作るために手の形をした葉っぱを創作します。子どもたちが世界に目を向けるきっかけを提供するイベントです。

【イベント概要】

- タイトル： みんなで「命の木」を作ろう！
日 程： 2012年8月27日(月)～9月2日(日)
11:30～、13:00～、14:30～、16:00～(各30分)
場 所： 六本木ヒルズ ウエストウォーク2階
参加費： 無料
定 員： 各回20名
対象年齢： 4歳～小学生とその保護者
参加方法： 6月21日より団体ホームページから申し込み
主 催： 特定非営利活動法人ワールド・ビジョン・ジャパン
特別協力： 森ビル株式会社
※参加者には、リーフレット絵本をプレゼントします。



■「命の木プロジェクト」とは

いま世界では、年間760万人の子どもたちが予防・治療可能な要因によって、5才未満で命を落としています。この状況を改善するため、ワールド・ビジョン・ジャパンは6/21(木)から9/20(木)に「命の木プロジェクト」を実施します。子どもたちを救いたい、という気持ちを表す絵・言葉・写真を全国から募集し、「命の木」を作ります。「命の木」は10月に東京で開催される国際通貨基金(IMF)・世界銀行年次総会で、日本政府と世界のリーダーに提出し、日本の市民が世界の子どもたちを救うことに強い意欲を持っていることを伝える計画です。

■なぜ「手」なの？

この取組みは、「5才未満で命を落としていく子どもたちを救うためのものです。そのため、「5本の指がある手をシンボルとしています。また、「子どもたちを救いたい」という気持ちを表すために挙げた「手」、という意味もあります。

ワールド・ビジョン・ジャパンとは？

ワールド・ビジョン・ジャパンは国連経済社会理事会に公認・登録されたキリスト教精神に基づく国際NGO、ワールド・ビジョンを構成している日本の民間援助団体です。当団体は国税庁に認定NPO法人として認定されており、皆さまからのご支援金は、寄付金控除の対象となります。詳しくは <http://www.worldvision.jp> へ。

この件に関するお問合せは

【担当】市山志保、浅野恵子

【電話】03-3367-7253 【FAX】03-3367-7652 【携帯】090-6567-9711

【Eメール】shiho_ichiyama@worldvision.or.jp / keiko_asano@worldvision.or.jp